

しあわせのペンリレー No.12

～ 私の大事を見つけていく ～

38年間の教職員生活を終え、重い責任から解放された。今まで後回しにしてきた家族の事や自分の事をしたいと決めていた。晴れた日には布団を干し、庭に季節の花を植え、冷凍食品に頼らないおかずに挑戦し、愛犬とゆっくり散歩して、孫の保育園にお迎えに行く、そんな当たり前のことを少し丁寧にしたいと考えていた。

しかし、なぜか、自分の足下がおぼつかない感じがした。今までゆっくりできなかったお昼寝をしても、映画を観ても、スポーツジムに通っても、なんだか、私がどこにいるのかわからない・・・

そんな時、広報で募集していた小学校の本の読み聞かせボランティアに参加してみることにした。今まで、ボランティアに来ていただく立場だったのに、いざ自分が行くとなれば、緊張する。どんな本を選ぶか図書館に通い、愛犬や孫相手に何度も練習した。私が教員として一番大事にしていた人権の視点が入った絵本を読んだ。読み聞かせを聞く子どもたちの真剣な眼差し、こぼれる笑顔、思いがけぬ鋭い感想・・・たった10分間で、私が私になれた。「ありがとうございました」と大きな声で言ってくれる子どもたちに、私の方が100倍の「ありがとう」を心の中で叫んだ。子どもたちの学びに、逆に学ばせてもらっている私があった。子どもたちのおかげで、社会とつながることができた。

家族の事も自分の事も大事。でも、人と出会い、いろいろな価値観を知り、新しい学びを創り、社会の中で何か私にできることをつないでいくことが大事。そんな「私の大事」を見つけながら、新しいステージを生きて行こうと心晴れやかに、次の読み聞かせの本を選んでいる。

鈴鹿市 矢賀 睦都恵